



柴田 朋彦 病院長

1996年聖マリアンナ医科大学卒業。川崎市立川崎病院で研鑽を積み、聖マリアンナ医科大学病院リウマチ・膠原病・アレルギー内科主任医長、聖マリアンナ医科大学横浜西部病院リウマチ・膠原病内科部長を経て、2020年4月に聖ヨゼフ病院病院長に就任。日本内科学会総合内科専門医、日本リウマチ学会リウマチ専門医。

病院長メッセージ

外来、入院で総合的なリウマチ診療を提供
手、足、関節などの専門家がそろった整形外科

同院には関節リウマチや膠原病などのリウマチ性疾患を専門に診療するリウマチ科が開設されている。また、整形外科は各領域の専門分野に精通した医師がそろい、若年者から高齢者まで幅広いニーズに対応できる体制を備えている。

1検査で使用するCT。近隣の医療機関からの検査・画像診断の依頼にも迅速に応じる 2理学療法士20人、作業療法士5人、言語聴覚士3人の充実した体制でリハビリを実施



TOPICS

住み慣れた地域で幸せに暮らす
在宅復帰と在宅療養をサポート

135床の一般病床に加え、47床の療養病床を有し、急性期治療後の患者を積極的に受け入れる同院。地域の急性期病院やクリニックとも連携し、退院後は訪問看護、訪問診療などに幅広く対応するほか、「地域包括ケア推進センター」を設置して、質の高い地域医療・介護を追求する。「横須賀市民は地元愛が強いので、住み慣れた地域で迎える幸せな最期をサポートしたいです」と病院長。

関節リウマチや膠原病などのリウマチ性疾患は専門に診る医師が少ない分野だが、同院には日本リウマチ学会リウマチ専門医が常勤で3人、非常勤も含めると8人在籍し、外来診療はもちろん、近隣で数少ない、入院でもリウマチ診療を提供する病院であることが大きな特徴だ。関節リウマチの診療には内科と整形外科の連携が欠かせない。病気そのものの治療は内科が薬物治療を実施し、破壊された骨や軟骨の再建、リハビリは整形外科と分担して取り組んでいる。整形外科には手の外科、足の外科、膝・肩・股関節外科、スポーツ障害など各分野を専門とする医師が在籍。充実したリハビリスタッフと連携し、患者一人ひとりのニーズに合わせた高度な手術や治療、リハビリを提供している。

令和7年秋には旧病院跡地に要介護者のショートステイが可能な看護小規模多機能型居宅介護施設も完成予定。「コロナ禍で内覧会が開けなかったため、地域の皆さん、ぜひ、新しく生まれ変わった当院を見に来てください。今後とも長く愛される病院をめざしていきます」と柴田朋彦病院長は話す。

社会福祉法人聖テレジア会 聖ヨゼフ病院

T E L : 046-822-2134
所在地：横須賀市緑が丘28
駐車場：有
休診日：日／祝
M A P : P000 0-0

L I N K : P000



ウェブ版はこちら



1清潔で落ち着いた雰囲気のある病室 2開放的な待合スペースでゆったりと待つことができる

横須賀中央駅から徒歩7分の地にある「聖ヨゼフ病院」。85年前に旧海軍軍人とその家族を診療する病院として誕生し、戦後は広く一般市民を対象に、キリスト教精神に基づき、生命の尊厳を守り、良質で温かい医療を展開してきた歴史を持つ。人間愛による医療というスピリッツを受け継ぎながら、現在地域に求められる医療の実践をめざしていく。

令和2年3月には新病院が完成。快適な環境と設備を備えた病院に生まれ

変わり、エレベーター棟の新設により、坂道を上ることなく来院できるようになった。

同院の特徴の一つは、専門性にとらわれない内科診療。境界領域にある病気を含めて幅広い全身の疾患を内科で総合的に診察し、各診療科との橋渡しをする。また、得意分野の呼吸器内科、リウマチ科、整形外科で専門性の高い医療を提供する一方で、地域のニーズが高い在宅療養にも重点を置き、地域住民の健康に寄与していく。

総合診療と整形外科、リウマチ診療が強み
在宅療養など、地域に根差した医療の提供を

社会福祉法人聖テレジア会
聖ヨゼフ病院